

《 令和 6 年度 P D C A サ イ ク ル 実 施 計 画 ・ 管 理 表 》

令和 6 年 4 月 1 日 現在

部署名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	次年度の改善内容
看護部	がん医療に携わる 専門的な医療従事者の育成	1. 都道府県がん診療連携拠点病院として、最新の治療や専門的ながん看護、緩和ケアに関する研修を通し、がん医療の発展を担う人材を育成する必要がある。多施設から多くの看護師に参加していただけるよう、感染対策に留意しながらより研修効果の高い形態での研修を企画する必要がある。	1)がん診療連携拠点病院の強化事業として、「がん看護コアナース育成セミナー」を昨年度と同様のオンラインでの開催に加え、希望者の見学実習を受け入れる。 研修テーマは毎年最新の治療法や看護が発信できる内容とする。 ①「不眠は夜の問題ではない」をテーマに、講義とGWIによる事例検討を3日間に分けて行う ②病院HPへの掲載や地域の拠点病院への発信など、効果的な宣伝活動により参加者を募集する ③運営や講師・ファシリテーターについては、当院のCNSやCNを活用し、専門的関わり(困りごとの解決や支援方法の提案等)を行う ④研修申込み時に見学実習希望状況を確認し、希望者については希望部署の見学実習を1日受け入れる	11月～ 12月頃					
		2. がん専門病院として最新の治療に対する看護実践力を向上させる必要がある。	2)専門・認定看護師や有資格者の実践力が向上する。 ①CNSCN会を2グループに分けて開催し、役割を推進していくためにより活発な委員会活動を行う ②CNSCN会を活用し、がん患者指導管理料取得数増加をはかる ③CNSやCNがコンサルテーション事例を通してスタッフのがん看護に関する実践力が向上する支援を行う	CNSCN会 は年10回					
		3. がんセンター独自の研修方法を有効に活用し、教育計画に基づいた研修を行う必要がある。	3)ともタン研修と集合研修を合わせた研修を開催し、人材を育成する。 ①ともタン研修と集合研修を年間計画に基づいて開催する ②院内研修はCNSやCNを活用し講義を行う ③OJT支援方法と達成課題を明確にする ④看護部ジェネラリストラダーで個別に評価を行う	通年					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C 評価における区分は、「達成」「概ね達成」「未達成」から、A改善における区分は、「完了」「継続」「その他」から、それぞれ1つ選んで記入する。

D 実行欄には、達成度等を考慮して、○、△、× を記入する。